

**「それは笑顔 そして思いやり」  
結成3年 ボランティア紫苑**  
「また来てない。」「また来っからない。」に心温まる

ボランティア紫苑様は、歌を通じたボランティア活動を行なっています。ハンカチやトライアングルなどを使い、昔懐かしい童謡や唱歌、季節の歌などをご利用者の皆様と一体となり歌って下さいます。ここで、昨年9月に結成3年を迎えられた、ボランティア紫苑の渡邊等様より頂いたお手紙をご紹介します。

ボランティア紫苑結成3年を迎えて  
平成22年9月、歌を通じてのボランティア活動の趣旨に賛同する21名が集いクラブを結成、昨年9月で3年を迎えました。クラブの名を結成期9月に咲く美しい花の中から「ボランティア紫苑(花言葉:思い出・追憶)」と名付け、毎月1回、あつかし荘さんのホーム内喫茶のお手伝いが活動の始まりでした。歌やゲームなど、月1回の短い時間、小さなことかもしれませんが回を重ねるごとに高齢者の皆さんの表情が豊かになり、親しみが増してまいりましたことは、大変嬉しく有難いことだと思っております。帰る際、「また来てない。」「また来っからない。」と約束し、次のお逢いを楽しみにしている。この言葉尻の「ない」の方言に心が温まる。結成3年の節目にあたり、歌やゲームを主としたプログラムに創意を凝らし、高齢者の皆さんが、より一層心が弾む楽しいひと時を過ごして頂けるよう努めたいと思います。現在会員22名、クラブの合言葉「それは笑顔 そして思いやり」をモットーに、今出来る喜びに感謝し、心新たに和気あいあい「心和むボランティアを目指して」頑張りたいと思います。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。  
ボランティア紫苑 渡邊 等

**あつかし掲示板**

(平成25年9月～平成26年3月)

- ボランティアの皆さん(順不同) 国見町婦人会連絡協議会様(清掃等)、磐青の会様(清掃等)、ボランティア紫苑様(レクリエーション等)、ニューモラルクラブ様(環境美化等)
- 利用者への寄贈等 国見町寿クラブ連合会様(タオル等)
- 実習、ボランティア等(順不同) 県北中学校2年生(4名)、聖光学院高等学校2年生(2名)、福島学院短期大学部専攻科(2名)
- 感染症対策ご協力お願い 冬期間の感染症対策にご協力いただき有り難うございました。これからは食中毒に注意が必要な時期となります。食べ物をお持ち込みされる際は、職員まで声をお掛け下さい。

**編集後記**

◆あつかし荘から望む半田山の木々達も徐々に芽吹き、山全体が淡い緑色に変わり、また周りの田んぼも田植えの準備が着々と進み、季節の移ろいが、日々感じられます。◆日々時間に追われる毎日、休日は

**苦情・相談  
受け付けます**

当事業所のサービスについてご相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付け下さい。

**【苦情受付担当者】**

施設介護課長 岡崎 照子  
介護係長 高橋 睦子

**【苦情解決責任者】**

施設長 佐久間紀明

**【第三者委員】**

介護保険運営協議会委員 佐藤 豊治 様  
人権擁護委員 半澤 妙子 様

**臨時職員募集**

施設未経験の方も  
丁寧にサポートいたします

**①介護職員**

資格/ヘルパー2級以上  
勤務/4交替シフト制

**②看護職員**

勤務/9:00～18:00 } シフト制  
9:30～18:30  
9:45～18:45

休日/週休2日(月10日程度)  
給与/法人規程による  
(経験年数考慮)

待遇/賞与年2回、  
各種保険完備、  
交通費支給、  
ほか法人規程による

**正職員登用制度あり**

気軽にお問い合わせ下さい!!  
(☎024-585-5610 担当:高野)

準臨時看護職員・パート看護職員  
も同時募集!!

**職場見学も随時受付中!!**

**■これからの主な行事予定**

- 6月 4日(水) 足湯ツアー  
19日(木) 移動売店(食品) お楽しみツアー
  - 22日(日) ホーム内喫茶
  - 7月 3日(木) 七夕飾り付け  
9日(水) うちわ作成  
13日(日) ホーム内喫茶  
27日(日) 夏祭り
  - 8月 3日(日) ホーム内喫茶  
13日(水) お盆供養  
27日(水) ネイルアート
- ※変更の場合は、ご容赦下さい。

出来るだけ家族と過ごし、努めて季節を感じるよう心掛けています。  
◆現在、不定期発行の『あつかし荘

だより』ですが、最新情報はホームページでもご覧いただけます。ホームページの方も、是非ご覧下さい。

平成26年5月20日発行

**あつかし  
荘だより**

編集と発行 ● 社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘  
〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5-2  
TEL:024-585-5610 FAX:024-585-5611  
URL:http://www.shintatsu.jp E-mail:atsukashi@shintatsu.jp

個人情報保護法により紙面に掲載されている写真は個人の承諾を得て掲載しております。

社会福祉法人信達福祉会

2014.5

**あつかし  
荘だより**

**安全・安心・ゆとり**

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます

**春到来!!**

**桜の開花に合わせてお花見へ**

ぼかぼか陽気の中 ご利用者様24名が参加



4月18、22日の2日間、国見町の観月台公園にお花見へ出掛けました。両日とも天候に恵まれ、ちょうど見頃となった桜やユキヤナギを眺めながら、公園内をゆっくり散策しました。

冬期間は外出する機会が少なく久しぶりの外出となった参加者の皆様は、背伸びや深呼吸をしたり池を眺めたりしながら、春を満喫しました。

参加されたご利用者様はぼかぼか陽気の中で自然と笑顔になり、お煎餅やジュースを召し上がりながら他のご利用者様や職員との会話を楽しまれ、「きれいだない」「外の空気は気持ちいいな～」などと話されていました。



▲お花見の合間に、池の鯉を眺めるご利用者様

**理事長就任のご挨拶**

謹啓 陽春の候ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと

平成二十六年四月一日付けをもって社会福祉法人信達福祉会理事長に就任いたしました。高齢者福祉、介護事業のより一層の充実が求められている時期にあつて、もとより微力ではございますが、社会福祉事業発展のため専心努力いたします所存でございますので、前任者同様格別のご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成二十六年四月

社会福祉法人信達福祉会  
理事長 岡崎康之



あつかし荘ホームページをご覧ください。

## あつかし荘敬老会開催 ご家族とともに長寿を祝う ボランティア紫苑様・伊達崎婦人会様が余興を披露



昨年9月8日、桑折町長 高橋宣博様、法人苦情解決第三者委員 佐藤豊治様を来賓にお迎えし、ご家族の皆様とともに、ご利用者様のご長寿を祝い、敬老会を盛大に開催しました。

敬老会に先立って行われた家族懇談会では、ご家族様から寄せられたアンケート結果について

報告を行い、これからもより良いサービスを提供していくことを説明しました。

敬老会では、まず喜寿や米寿等を迎えられた方々に、町長から敬老祝金と賀寿が、園長から花束が手渡され、続く余興では、ボランティア紫苑の皆様とともに懐かしい童謡や唱歌を参加者全員で合唱したり、伊達崎婦人会の皆様が踊りを鑑賞しました。

会食では、お寿司やお刺身、炊き合わせや天ぷらなど、お祝いの席に相応しいご馳走をご家族様と一緒に召し上がっていただき、敬老のひと時を過ごしました。

## 食 ケア情報 plus を考える⑩ 食堂の雰囲気 ゆったりと外食気分

白いテーブルクロスに手作りのランチョンマット、お洒落な水差しでグラスに水を注ぎ『あつかし食堂』開店です。この『あつかし食堂』は、ご利用者の皆様に外食した雰囲気を味わっていただくとう毎月1回開かれます。食堂の入口で定食、丼物、麺類の3つのメニューから選んでいただきます。天ぷらや彩りよい丼物、暑い時期の冷たい麺類が人気です。



## 「鬼は～外！福は～内！」 無病息災を願い豆まき 鬼役の職員も体を張って頑張りました

2月3日は節分です。あつかし荘では、赤鬼と青鬼を相手に豆まきを行い、ご利用者様の無病息災を願いました。

冬から春へ季節が分かれる時期が節分とされていますが、この日はまさに春を思わせる穏やかな陽気で、園内には、「鬼は～外！福は～内！」と豆をまく、ご利用者様の大きな声が響きました。

昼食には、節分にちなんだ食材を使用したイワシのチーズ焼きや豆入りサラダ、また、春をいち早く感じていただけるよう、菜の花のお浸しやイチゴなどをご用意いたしました。

また、おやつでは、厨房スタッフが心を込めて手作りした、ロールケーキを召し上がっていただき、和やかに節分の日を過ごしました。



## お雛様の前でパチリ！ ひな祭り写真撮影会 昼食は、おいしい生ちらしバイキング



3月3日、あつかし荘では「ひな祭り写真撮影会」と題し、園内に飾ったお雛様の前で記念撮影会を行いました。



ご利用者の皆様は、お雛様を前に少々緊張した様子で、写真に写られていました。

また、お昼には「生ちらしバイキング」を行いました。

マグロやエビなどが盛り付けられた大皿のちらし寿司をご利用者様の目の前で取り分け、お腹いっぱい召し上がっていただきました。

認知症をもった高齢者は、認知症の進行にともなって意思を伝え、了解しあうことが困難になります。また、話が断片的で本人が何を訴えているのか、何をしたいのか、こちらが理解することが難しくなります。

しかし、認知症をもった高齢者と向き合い集中して傾聴すること、意

## あつかし かわらばん

### 伝統の「だんごさし」 地元団体が協力



1月19日、小正月行事「だんごさし」の展示が行われました。

「だんごさし」は、「豊作」や「繁栄」などの願いを込め、色鮮やかな団子や縁起物をミズキの木（＝団子の木）に飾り付けを行う、小正月の行事です。

この「だんごさし」の展示は、半田地区住民自治協議会様と桑折町青少年育成町民会議半田支部様が、青少年育成事業の一環として行われた「だんごさし」を、毎年、地域の施設に配られ展示されるものです。

ご利用者の皆様は、まるで花が咲いたような美しい「だんごさし」を見上げ、幼い頃を思い出し懐かしんでいる様子でした。

## 積極的に受け入れ 介護士の卵を養成

あつかし荘では、福島学院大学短期大学の介護実習を始め、伊達市内にある高校福祉コースの介護職員初任者研修の実習、地元中学校の職場体験などの受け入れを積極的に行なっています。

このような実習や体験を通じ、高齢者介護や福祉施設について理解を深めてもらい、将来の介護士を養成していきたいと考えています。



平成24年4月に梁川ホームより異動して参りました。事務員として主に施設会計業務を行なっております。ご利用者様やご家族様、また地域から選ばれる施設作りを念頭に置き業務に励みたいと思っております。宜しく申し上げます。

## 万一の火災に備え 消防訓練を毎月実施

あつかし荘では、伊達地方消防組合西分署様、桑折町消防団様、桑折町役場総務課様の協力により行う総合訓練、新任職員を対象に行う初任者研修、夜間の勤務体制時を想定して行う夜間想定訓練など、消防訓練を毎月行っています。



梁川ホームから異動してきて3年目、介護士としてふれあいグループで働いています。かゆい所に手が届くような介護士を目指して、まだまだ勉強の日々です。『報告・連絡・相談』『チームワーク』を大切に、仕事に励んでいきます。

## ワンポイント 認知症 ⑩

あつかし荘では、認知症に対する理解を深め「一人ひとりの利用者のその人らしさを大切に、その人を中心としたケア」ができるよう取り組みをすすめています。今回のワンポイント認知症は、『認知症高齢者とのコミュニケーションのポイント』についてです。

認知症をもった高齢者は、認知症の進行にともなって意思を伝え、了解しあうことが困難になります。また、話が断片的で本人が何を訴えているのか、何をしたいのか、こちらが理解することが難しくなります。

しかし、認知症をもった高齢者と向き合い集中して傾聴すること、意

味が分からなくても話したい、伝えたいという本人の気持ちに共感することが大切です。

効果的なコミュニケーションは、認知症の周辺症状（BPSD）が起きた時の解決にも役立ちます。

### ■好ましいコミュニケーション

1. 五感を働かせて細やかな観察をする
2. 相手を支持的な（サポート）対応をする
3. 近づいて目を見て話す
4. 声の調子、大きさに気を付ける
5. たくさんのことではなく、簡潔に1つずつ伝える
6. 分かる言葉、簡単な言葉を伝える
7. フルネームで呼ぶ

8. ナビゲーターになって、今がいつか、ここは何処か、これから何をするのかを伝える

9. 相手の世界を知り、それに合わせる
10. 回想法（昔話）を活用する
11. 相手の感情に働きかける

### ■好ましくないコミュニケーション

1. 拒否
2. 尊厳を傷つける
3. 屈辱感を与える
4. 「ちゃん」づけ、呼び捨て、子ども扱い
5. 離れたところから声をかける、後ろから声をかける
6. 不快な環境